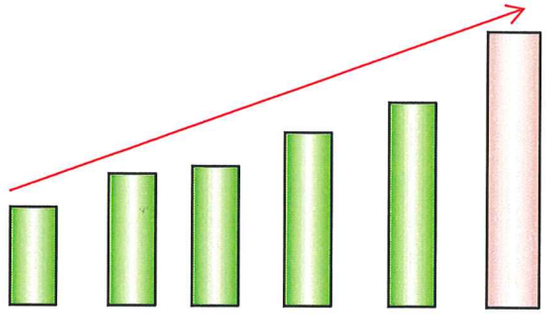
収入保険の基準収入を試算してみませんか！

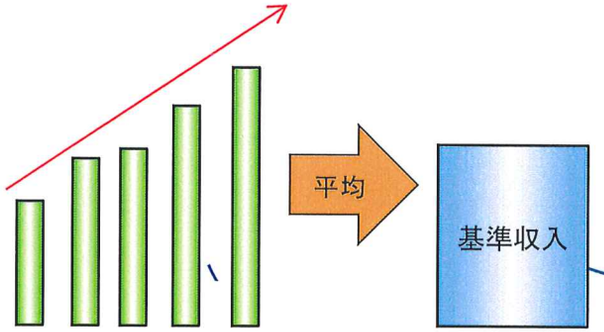
平成３０年１月

農林水産省

- 規模拡大をしてきているから、売上が伸びてきているんだよね。
- 需要が伸びている作物に取り組んでいるから、売上が伸びてきているんだよね。
- 大きな災害から復旧しつつあり、最近では経営が回復してきているんだよね。



でも、過去５年の収入の平均を基準にするだけでは、最近の経営の実態を十分に反映していないんだけどな・・・。



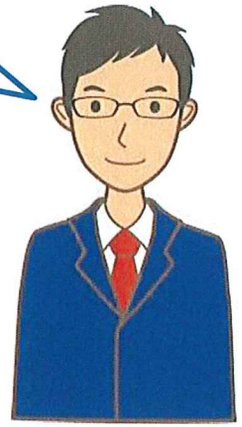
✔　毎年、このように経営は、変化していきます。
「**過去５年の平均を基準にするだけでは、**
最近の経営の実態を十分に反映していないんだけどな・・・。」
という声をよく聞きます。

✔　収入保険の基準収入の計算には、実は、**より実態を反映するため、規模拡大や収入の上昇傾向を反映できる仕組み**が、組み込まれています。

✔　この資料は、**そのような実態を反映した基準収入**を試算するための
シミュレーションの説明書です。

次の流れで、基準収入の試算ができます。

① 過去の平均収入を計算する。
② 収入保険の対象となる期間の収入見込を計算する。
③ 基準収入の試算結果を確認する。



スタート をクリックすると、次の画面が出ます。

［メニュー］シート

過去の平均収入を計算する
① 過去の各年の収入金額を入力して、過去の平均収入を計算します。（４ページへ）

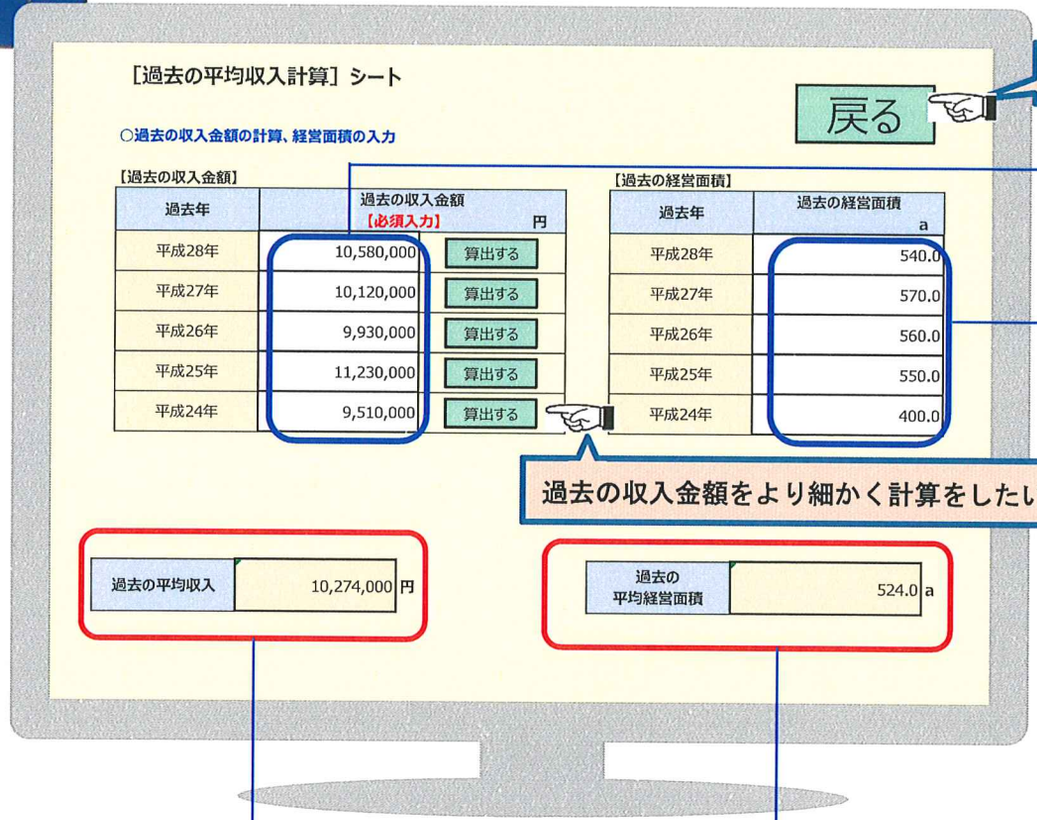
保険期間の収入見込を計算する
② 作付予定面積や見込単収、販売見込単価等のデータを入力して、収入保険の対象となる期間の収入見込を計算します。（７ページへ）

基準収入の試算結果を表示する
③ ①と②の結果から基準収入の試算結果が表示されます。同時に特例の適用についても確認できます。（８ページへ）

さあ、やってみよう！

1　過去の平均収入を計算してみましょう。

３ページの画面で　過去の平均収入を計算する　をクリックすると、次の画面が出ます。



入力が終わったら、ここをクリックします。すると、３ページの画面に戻ります。

過去の収入金額をより細かく計算をしたい場合は、ここをクリックします。（５、６ページへ）

① 過去の各年の収入金額を入力します。

注：５年分の実績がない場合は、ある年だけ入力します。

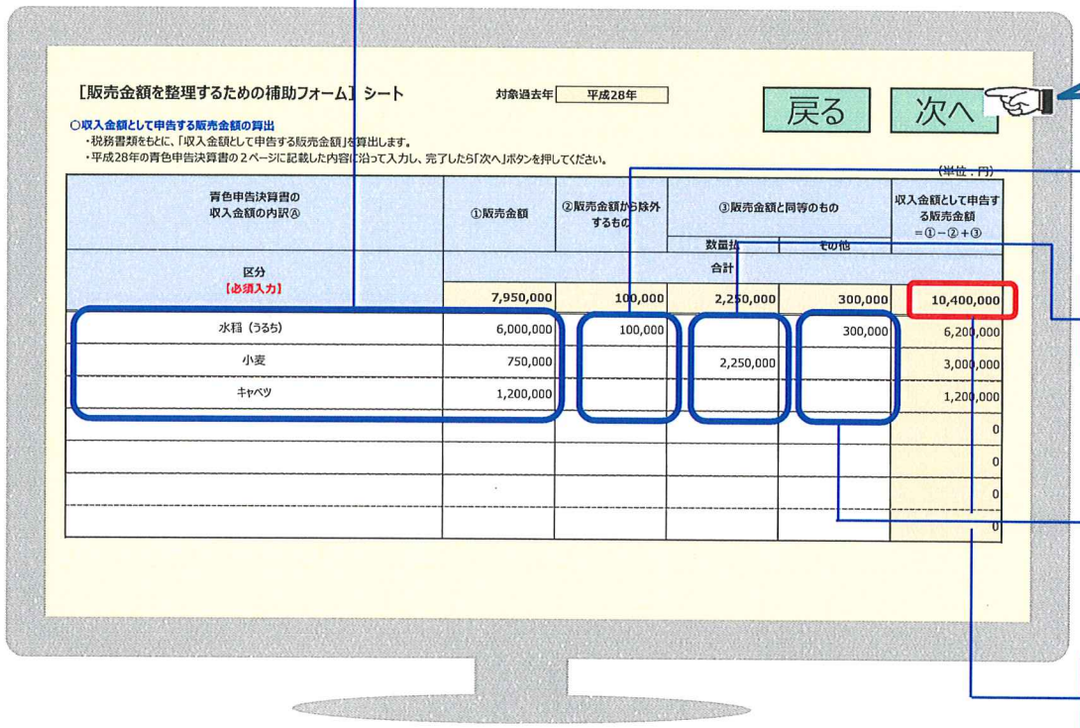
注：収入の上昇傾向を反映する特例（収入上昇傾向特例）による基準収入を試算する場合は、過去５年間の収入金額の入力が必要です。

② 規模拡大を反映する特例（規模拡大特例）による基準収入を試算する場合は、過去の経営面積（経営耕地面積）も入力します。

③ ①と②の平均が表示されます。

[過去の収入金額をより細かく計算をしたい場合]
①「販売金額」をより細かく計算します。

○　収入保険では、農業者が自ら生産している農産物の販売収入全体を対象とします。まず、青色申告決算書等から農産物ごとの販売金額を整理します。その際、販売金額から除いたり、加えたりするものもあります。



①　農産物ごとの販売金額を入力します。

入力が終わったら、ここをクリックします。すると、６ページの収入金額を算出する画面に移動します。

②　他から仕入れた農産物の販売金額などを入力します。

③　畑作物の直接支払交付金等の数量払の金額を入力します。

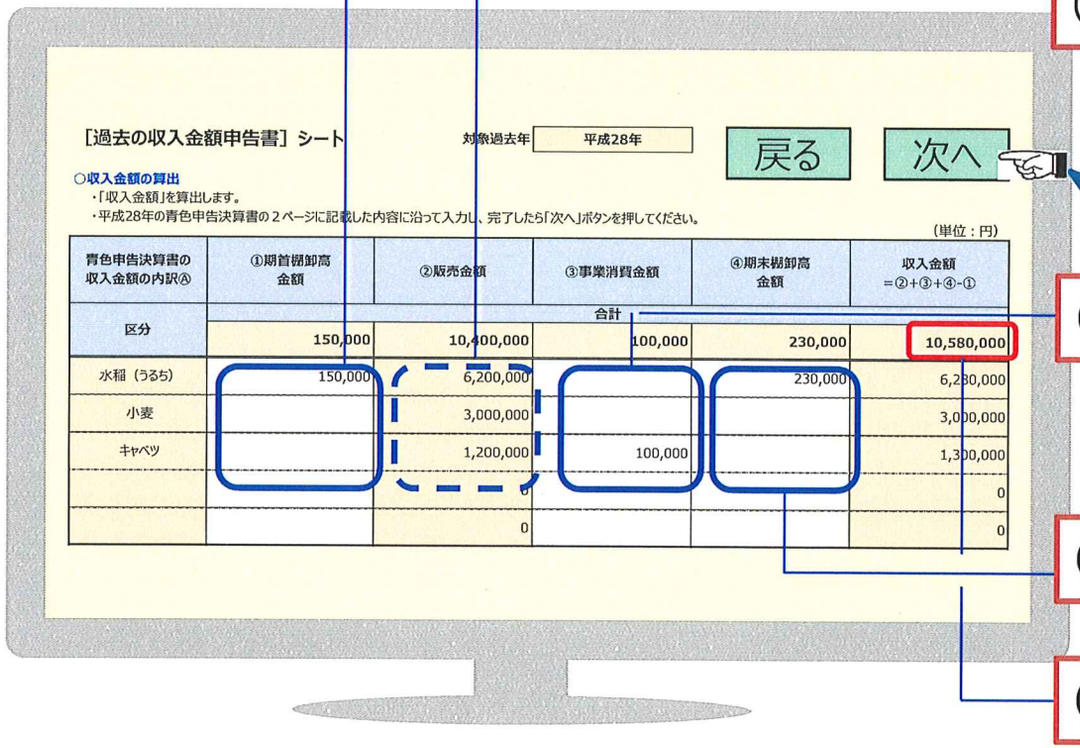
④　ＪＡからの農産物の精算金などの金額を入力します。

⑤　販売収入が表示されます。

[過去の収入金額をより細かく計算をしたい場合]

②販売金額以外の金額を入力します。

○　収入保険では、農産物の販売金額に、事業消費金額及び期末棚卸高金額を加え、期首棚卸高金額を引いた金額が対象収入です。この対象収入を用いて、基準収入などを計算することになります。



① 農産物ごとの期首棚卸高金額を入力します。

② ５ページで計算した『収入金額として申告する販売金額』から転記されます。

入力が終わったら、ここをクリックします。すると、４ページの画面に戻ります。

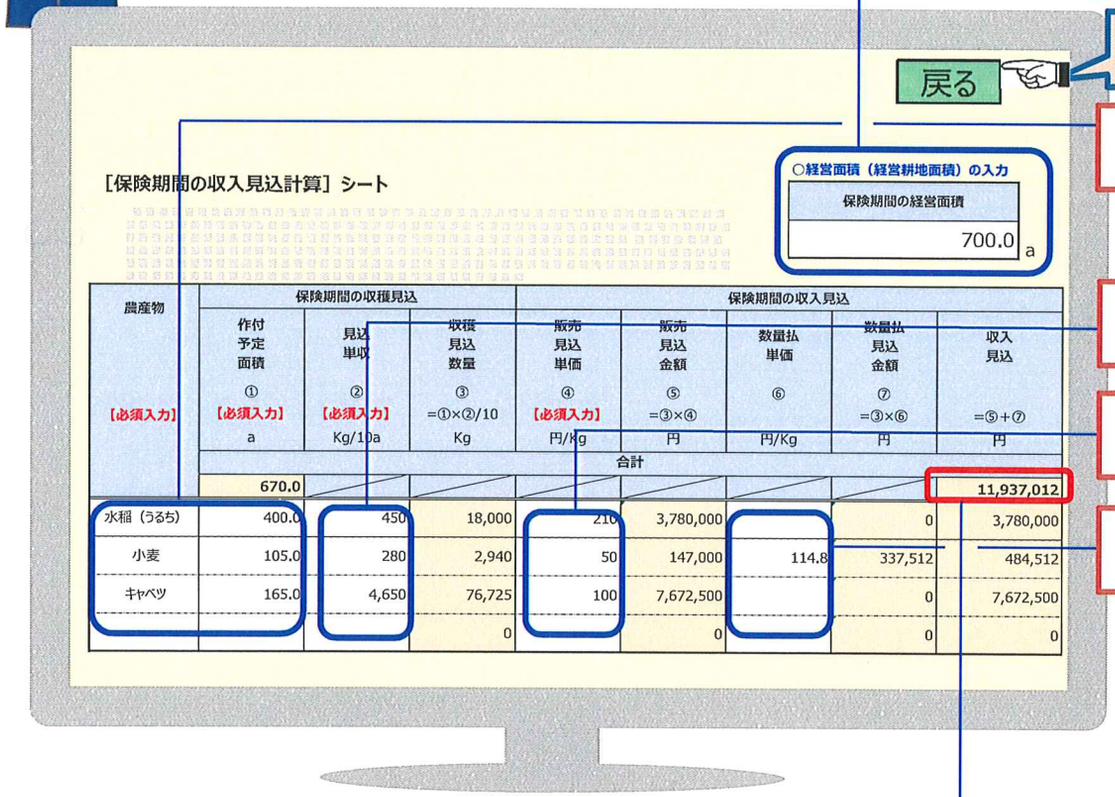
③ 事業消費金額を入力します。

④ 期末棚卸高金額を入力します。

⑤ その年の収入金額が表示されます。

２　収入保険の対象となる期間（保険期間）の収入を計算してみましょう。

３ページの画面で　保険期間の収入見込を計算する　をクリックすると、次の画面が出ます。



入力が終わったら、ここをクリックします。すると、３ページの画面に戻ります。

① 保険期間の経営面積（ａ）を入力します。

② 農産物ごとの作付予定面積（ａ）を入力します。

③ 見込単収（kg／10ａ）を入力します。

④ 販売見込単価（円／kg）を入力します。

⑤ 画面右の平均交付単価表を参考に数量払単価（円／kg）を入力します。

⑥ 収入見込が表示されます。

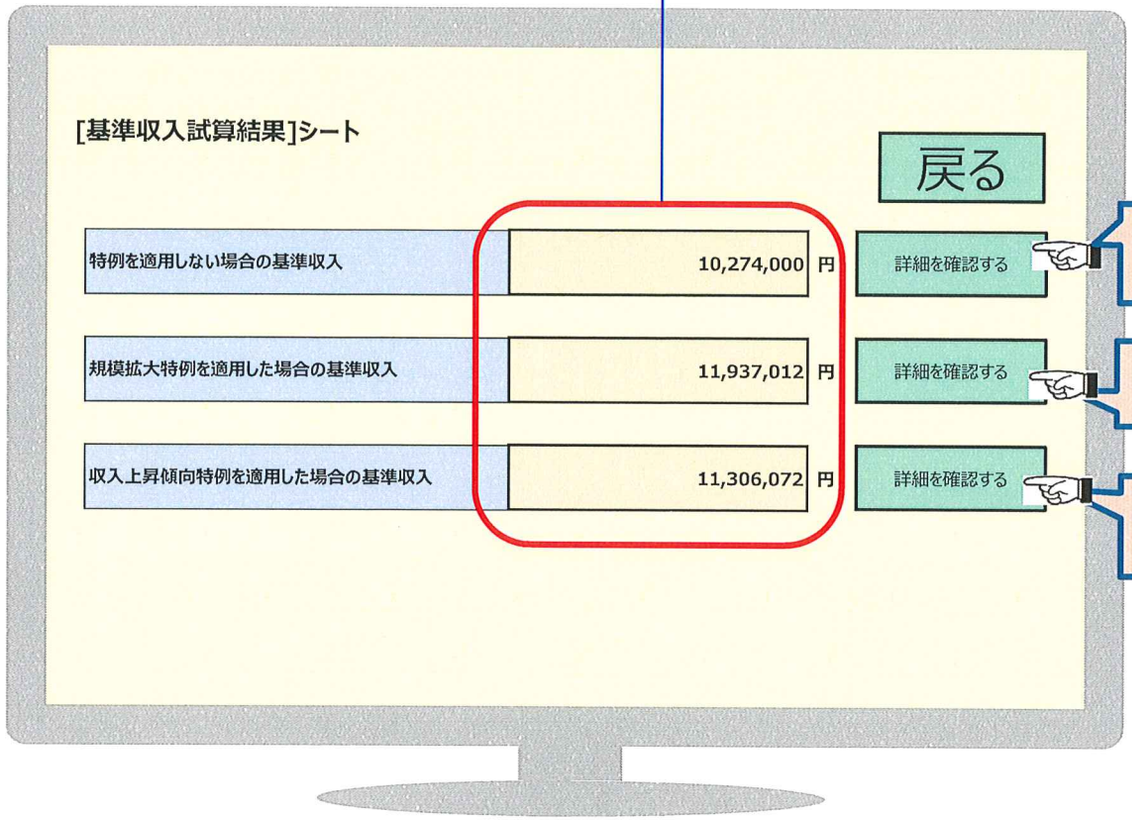
○平均交付単価表（平成２９年産～３１年産）

対象作物	数量払単価	数量払単価(円/Kg)
小麦	6,890円/60kg	114.8
二条大麦	5,460円/50kg	109.2
六条大麦	5,690円/50kg	113.8
はだか麦	8,190円/60kg	136.5
大豆	9,040円/60kg	150.7
てん采	7,180円/t	7.2
でん粉原料用ばれいしょ	11,610円/t	11.6
そば	16,840円/45kg	374.2
なたね	9,920円/60kg	165.3

３　基準収入の試算結果を確認しましょう。

３ページの画面で 基準収入の試算結果を表示する をクリックすると、次の画面が出ます。

基準収入の試算結果が表示されます。

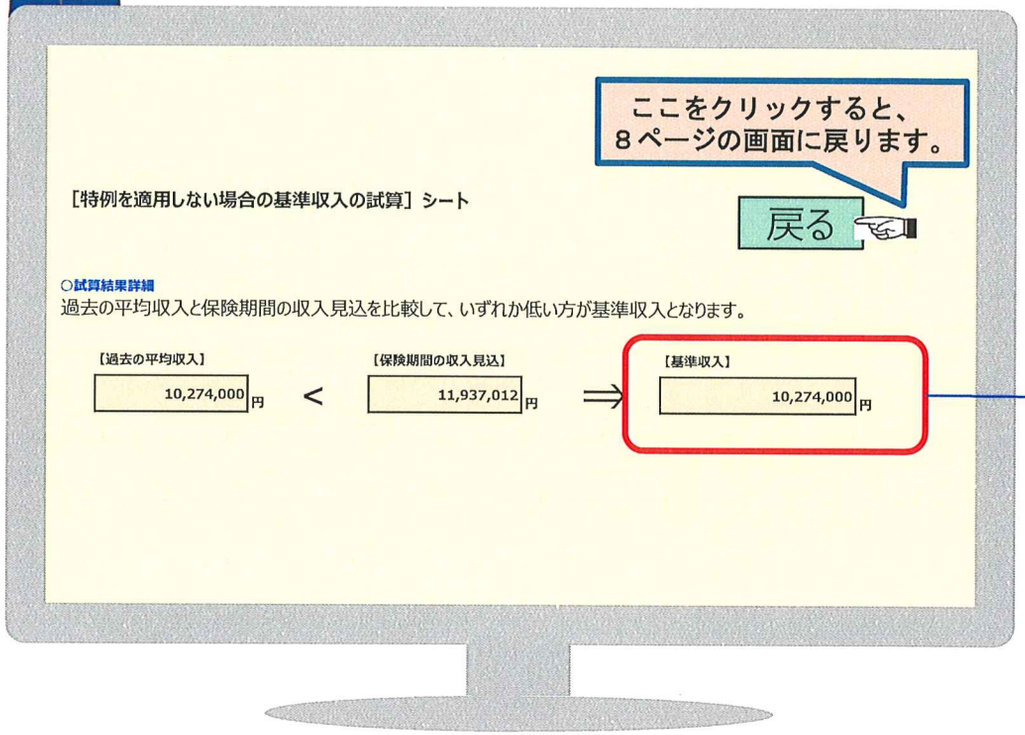


特例を適用しない基準収入の計算方法を確認することができます。（９ページ）

規模拡大特例を適用した場合の基準収入の計算方法を確認することができます。（10ページ）

収入上昇傾向特例を適用した場合の基準収入の計算方法を確認することができます。（11ページ）

特例を適用しない場合の基準収入の試算結果を確認できます。



基準収入の試算結果を表示します。

※過去の平均収入と保険期間の収入見込を比較して、いずれか低い方が基準収入となります。

○　基準収入は、過去５年間の平均収入を基本として、保険期間の営農計画も考慮して設定します。

このため、保険期間に経営面積を縮小する場合や単収・単価の低い作物へ転換する場合などは、下方修正します。（※保険期間の収入見込が基準収入となります。）

規模拡大特例を適用した場合の基準収入の試算結果を確認できます。

① 確認のため、既に入力したデータが表示されます。

戻る

ここをクリックすると、８ページの画面に戻ります。

② 特例が適用されるのかの判定結果が出ます。

③ 特例を適用した場合の基準収入が出ます。

［規模拡大特例の試算］シート

○特例の概要

○試算結果詳細

（１）基礎データ

【過去の収入金額】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
9,510,000	11,230,000	9,930,000	10,120,000	10,580,000	円

【過去の経営面積】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
400.0	550.0	560.0	570.0	540.0	a

【過去の単位面積当たり収入】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
23,775	20,418	17,732	17,754	19,593	円/a

・過去の単位面積当たり収入は、各年ごとに、収入金額を経営面積で割った値です。

【保険期間の収入見込】 11,937,012 円

【保険期間の経営面積】 700.0 a

（２）特例の判定

①過去の平均収入より保険期間の収入見込の方が大きいか。

【過去の平均収入】 10,274,000 円 ＜ 【保険期間の収入見込】 11,937,012 円　保険期間の収入見込の方が大きい ⇒ ○

②過去の平均経営面積より保険期間の経営面積の方が大きいか。

【過去の平均経営面積】 524.0 a ＜ 【保険期間の経営面積】 700.0 a　保険期間の経営面積の方が大きい ⇒ ○

（３）過去の平均収入の調整

過去の各年の単位面積当たり収入の平均に、保険期間の経営面積の合計をかけて過去の平均収入を調整します。

【過去の単位面積当たり収入の平均】 19,854 円/a × 【保険期間の経営面積】 700.0 a ＝ 【調整後の過去の平均収入】 13,898,122 円

（４）規模拡大特例による基準収入の算出

調整後の過去の平均収入と、保険期間の収入見込を比較して、いずれか低い方が基準収入となります。

【調整後の過去の平均収入】 13,898,122 円 ＞ 【保険期間の収入見込】 11,937,012 ⇒ 【規模拡大特例による基準収入】 11,937,012 円

経営面積を拡大すると、
基準収入が補正されるんだね！

収入上昇傾向特例を適用した場合の基準収入の試算結果を確認できます。

①　確認のため、既に入力したデータが表示されます。

②　特例が適用されるのかの判定結果が出ます。

③　特例を適用した場合の基準収入が出ます。

［収入上昇傾向特例の試算］シート

ここをクリックすると、
８ページの画面に戻ります。

戻る

○特例の概要

○試算結果詳細

（１）基礎データ

【過去の収入金額】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
9,510,000	11,230,000	9,930,000	10,120,000	10,580(

【保険期間の収入見込】

11,937,012 円

（２）特例の判定

①過去の平均収入より保険期間の収入見込の方が大きいか。

【過去の平均収入】□ 10,274,000 円 ＜ 【保険期間の収入見込】 11,937,012 円　保険期間の収入見込の方が大きい ⇒ ○

②過去５年間の各年の収入の増減率（４個）の平均が１よりも大きいか。
増減率は、各年の収入金額をその前年の収入金額と比較した割合

【過去の収入金額】

平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
9,510,000	11,230,000	9,930,000	10,120,000	10,580,000 円

【増減率】

1.18	0.88	1.02	1.05

【増減率の平均】 1.03 ＞ 1　増減率の平均が1よりも大きい ⇒ ○

（注）過去の収入金額に10,000円よりも低い金額を入力した場合は、入力システムの都合上、10,000円として計算しています。
また、増減率の平均が２より大きくなる場合は、入力システムの都合上、２としています。

（３）過去の平均収入の調整

①増減率の平均を３乗（３回かける）し、上昇指数を算出します。

【増減率の平均】 1.03 の３乗 ＝ 【上昇指数】 1.10

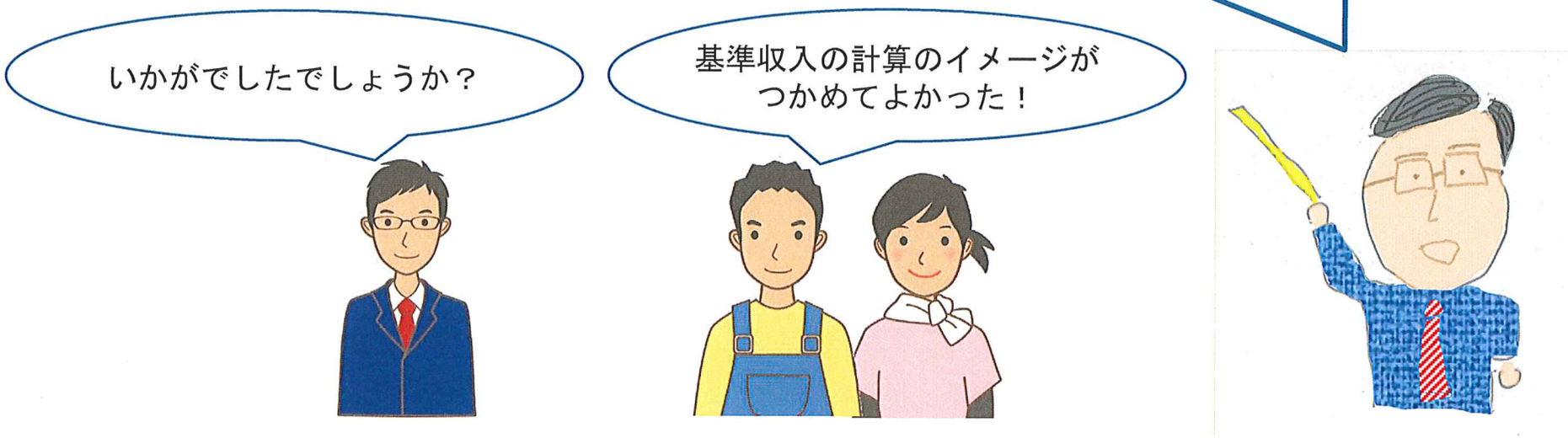
②過去の平均収入に、上昇指数をかけて過去の平均収入を調整します。

【過去の平均収入】 10,274,000 円 × 【上昇指数】 1.10 ＝ 【調整後の過去の平均収入】 11,306,072 円

（４）収入上昇傾向特例による基準収入の算出

調整後の過去の平均収入と、保険期間の収入見込を比較して、いずれか低い方が基準収入となります。

【調整後の過去の平均収入】 11,306,072 円 ＜ 【保険期間の収入見込】 11,937,012 円 ＝ 【収入上昇傾向特例による基準収入】 11,306,072 円

過去の収入に上昇傾向があれば、
基準収入が補正されるんだね！

簡単な入力で、基準収入の試算ができます。
どうか皆様も一度試してみて下さいね。